



## 平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年11月9日

上場会社名 株式会社 九州リースサービス  
 コード番号 8596 URL <http://www.k-lease.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役業務本部長  
 四半期報告書提出予定日 平成28年11月10日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 古賀 恭介  
 (氏名) 檜垣 亮介  
 配当支払開始予定日

TEL 092-431-2530  
 平成28年12月5日

上場取引所 福

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	10,616	12.5	1,874	1.5	1,830	0.5	1,555	10.6
28年3月期第2四半期	9,439	△4.3	1,846	△3.2	1,821	△1.1	1,406	9.0

(注)包括利益 29年3月期第2四半期 1,215百万円 (△21.1%) 28年3月期第2四半期 1,541百万円 (△11.2%)

	1株当たり四半期純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	
	円 銭		円 銭	
29年3月期第2四半期	69.21		—	
28年3月期第2四半期	62.66		—	

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円		百万円		%	
29年3月期第2四半期	123,711		22,691		18.3	
28年3月期	127,947		21,716		17.0	

(参考)自己資本 29年3月期第2四半期 22,669百万円 28年3月期 21,689百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
29年3月期	—	5.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	5.00	10.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,300	4.7	3,000	3.3	2,900	2.7	2,200	27.5	97.89

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年3月期2Q	25,952,374 株	28年3月期	25,952,374 株
② 期末自己株式数	29年3月期2Q	3,478,314 株	28年3月期	3,482,114 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年3月期2Q	22,473,516 株	28年3月期2Q	22,447,768 株

(注)自己株式数については、「役員株式給付信託(BBT)」及び「従業員株式給付信託(J-ESOP)」制度に係る信託財産として、資産管理サービス信託銀行株式会社(信託E口)が所有している当社株式を含めて記載しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	12
4. 補足情報	13
営業資産残高	13

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による経済・金融政策のもと、雇用や所得環境は堅調に推移しておりますが、新興国経済の減速や英国のEU離脱決定による円高の進行等への懸念もあり、個人消費、生産、輸出は伸び悩み、国内の景気は足踏み状態を続けております。

当リース業界におきましては、平成28年4月～9月累計のリース取扱高（公益社団法人リース事業協会統計）は、前年同期比2.0%増となっております。

このような中、当社グループでは良質資産の積み上げによる安定収益基盤の構築を目指し、積極的な営業活動を展開してまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における経営成績は、リース・割賦事業、融資事業及び不動産事業が増収となり、売上高は10,616百万円（前年同期比12.5%増）、営業利益は1,874百万円（前年同期比1.5%増）、経常利益は1,830百万円（前年同期比0.5%増）となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は、繰延税金資産の増加などにより1,555百万円（前年同期比10.6%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### ① リース・割賦

土木建設機械や太陽光発電設備などの取組増加に伴い、売上高は7,031百万円（前年同期比19.8%増）、セグメント利益（営業利益）は679百万円（前年同期比6.1%増）となりました。なお、営業資産残高は59,380百万円（前期末比1.9%増）となりました。

#### ② 融資

貸付実行高の増加により売上高は530百万円（前年同期比8.2%増）となりましたが、貸倒引当金戻入益が減少したことにより、セグメント利益（営業利益）は391百万円（前年同期比0.1%増）となりました。なお、営業資産残高は20,410百万円（前期末比3.3%増）となりました。

#### ③ 不動産

賃貸不動産の売却や前年下半期における連結子会社の減少により不動産賃貸収入が減少しましたが、販売用不動産の売却収入が増加し、売上高は2,704百万円（前年同期比5.6%増）、セグメント利益（営業利益）は884百万円（前年同期比12.1%増）となりました。なお、営業資産残高は賃貸不動産1物件の売却などもあり26,976百万円（前期末比18.3%減）となりました。

#### ④ フィービジネス

保険代理店収入や自動車リースの紹介手数料収入は堅調に推移しましたが、案件組成手数料収入などが減少したことにより、売上高は228百万円（前年同期比15.2%減）となり、セグメント利益（営業利益）は101百万円（前年同期比21.0%減）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は123,711百万円（前期末比3.3%減）と前連結会計年度末に比べ4,235百万円の減少となりました。これは主に賃貸不動産の減少6,552百万円、割賦債権の増加908百万円、リース債権及びリース投資資産の増加445百万円、営業貸付金の増加597百万円などであります。

負債合計は101,020百万円（前期末比4.9%減）と前連結会計年度末に比べ5,210百万円の減少となりました。これは主に借入金の減少4,329百万円、社債の減少488百万円などであります。

純資産合計は22,691百万円（前期末比4.5%増）と前連結会計年度末に比べ974百万円増加しました。これは主に利益剰余金の増加1,317百万円などであります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ1,011百万円増加し9,022百万円となりました。

①営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは、収入面では貸貸資産の売却による収入6,036百万円、減価償却費542百万円、販売用不動産の減少による収入352百万円などが主要なものであり、また、支出面では営業貸付金の増加による支出597百万円、割賦債権の増加による支出484百万円、リース債権及びリース投資資産の増加による支出205百万円などが主要なものであり、全体では6,011百万円の資金流入となり、前第2四半期連結累計期間に比べ1,833百万円の収入増となりました。

②投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動によるキャッシュ・フローは、定期預金の払戻による収入117百万円、有価証券の売却及び償還による収入100百万円、投資有価証券の売却及び償還による収入83百万円、無形固定資産の取得による支出130百万円、投資有価証券の取得による支出114百万円などが主要なものであり、全体では82百万円の資金流入となり、前第2四半期連結累計期間に比べ30百万円の収入減となりました。

③財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入による収入9,318百万円、長期借入金の返済による支出13,147百万円、社債の償還による支出488百万円、短期借入金の減少500百万円などが主要なものであり、全体では5,059百万円の資金流出（前第2四半期連結累計期間は123百万円の資金流入）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成28年11月2日付公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」の予想数値に変更ありません。また、今後の動向を踏まえ、修正が必要と判断された場合は速やかに公表いたします。

なお、業績予想数値は現時点で入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後さまざまな要因によって記載の業績数値と異なる結果となる可能性があります。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

### (4) 追加情報

(従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引)

当社は、取締役及び監査役(社外取締役及び社外監査役を除く)に対する業績連動型株式報酬制度「役員株式給付信託(BBT)」及び一定の要件を満たした従業員に当社株式を給付するインセンティブプラン「従業員株式給付信託(J-ESOP)」を導入しております(以下、合わせて「本信託」という。)

本信託が所有する当社株式は、四半期連結貸借対照表の純資産の部において自己株式として表示しており、当該自己株式の帳簿価額及び株式数は、前連結会計年度末において382百万円、1,291,900株、当第2四半期連結会計期間末において381百万円、1,288,100株であります。

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	8,127	9,022
割賦債権	11,738	12,646
リース債権及びリース投資資産	38,101	38,547
営業貸付金	19,763	20,360
賃貸料等未収入金	255	145
有価証券	100	—
販売用不動産	1,175	642
その他	693	986
貸倒引当金	△657	△584
流動資産合計	79,297	81,766
固定資産		
有形固定資産		
貸貸資産		
貸貸不動産(純額)	33,028	26,476
その他(純額)	8,449	8,187
貸貸資産合計	41,477	34,663
社用資産	1,486	1,428
有形固定資産合計	42,963	36,091
無形固定資産		
投資その他の資産	205	322
投資有価証券	4,557	4,704
その他	934	838
貸倒引当金	△11	△11
投資その他の資産合計	5,480	5,530
固定資産合計	48,649	41,944
資産合計	127,947	123,711

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,400	1,472
短期借入金	34,301	31,046
1年内償還予定の社債	976	976
未払法人税等	285	540
引当金	119	118
その他	3,713	3,477
流動負債合計	40,796	37,631
固定負債		
社債	3,222	2,734
長期借入金	52,260	51,186
引当金	14	15
退職給付に係る負債	399	395
資産除去債務	167	173
その他	9,370	8,883
固定負債合計	65,434	63,388
負債合計	106,230	101,020
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,933	2,933
資本剰余金	835	835
利益剰余金	16,989	18,307
自己株式	△1,075	△1,074
株主資本合計	19,683	21,001
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,024	1,682
繰延ヘッジ損益	△17	△15
その他の包括利益累計額合計	2,006	1,667
非支配株主持分	27	22
純資産合計	21,716	22,691
負債純資産合計	127,947	123,711

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	9,439	10,616
売上原価	6,615	7,837
売上総利益	2,824	2,779
販売費及び一般管理費	977	905
営業利益	1,846	1,874
営業外収益		
受取配当金	41	43
その他	8	18
営業外収益合計	50	61
営業外費用		
支払利息	73	57
為替差損	0	45
その他	1	1
営業外費用合計	75	104
経常利益	1,821	1,830
特別利益		
賃貸不動産売却益	119	75
投資有価証券売却益	—	56
特別利益合計	119	132
特別損失		
災害による損失	—	63
特別損失合計	—	63
税金等調整前四半期純利益	1,940	1,899
法人税、住民税及び事業税	301	510
法人税等調整額	207	△166
法人税等合計	509	344
四半期純利益	1,431	1,555
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	24	△0
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,406	1,555

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
四半期純利益	1,431	1,555
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	112	△341
繰延ヘッジ損益	△2	2
その他の包括利益合計	110	△339
四半期包括利益	1,541	1,215
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,516	1,216
非支配株主に係る四半期包括利益	24	△0

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	1,940	1,899
減価償却費	610	542
為替差損益(△は益)	—	22
賃貸不動産売却損益(△は益)	△119	△75
災害による損失	—	63
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△68	△73
引当金の増減額(△は減少)	19	0
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△3	△2
受取利息及び受取配当金	△42	△44
資金原価及び支払利息	473	388
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△56
割賦債権の増減額(△は増加)	△140	△484
リース債権及びリース投資資産の増減額 (△は増加)	△1,550	△205
営業貸付金の増減額(△は増加)	1,961	△597
販売用不動産の増減額(△は増加)	170	352
賃貸資産の取得による支出	△193	△377
破産更生債権等の増減額(△は増加)	394	29
仕入債務の増減額(△は減少)	367	72
賃貸資産の売却による収入	712	6,036
その他	705	△877
小計	5,236	6,613
利息及び配当金の受取額	42	43
利息の支払額	△470	△390
法人税等の支払額	△629	△255
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,178	6,011
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△12	—
定期預金の払戻による収入	12	117
社用資産の取得による支出	△11	△12
無形固定資産の取得による支出	△14	△130
有価証券の売却及び償還による収入	—	100
投資有価証券の取得による支出	△169	△114
投資有価証券の売却及び償還による収入	300	83
その他	7	38
投資活動によるキャッシュ・フロー	112	82

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△300	△500
長期借入れによる収入	13,842	9,318
長期借入金の返済による支出	△12,753	△13,147
社債の償還による支出	△499	△488
自己株式の取得による支出	△51	—
自己株式の処分による収入	51	—
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の 売却による収入	11	—
配当金の支払額	△176	△236
非支配株主への配当金の支払額	△0	△4
財務活動によるキャッシュ・フロー	123	△5,059
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	△22
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	4,414	1,011
現金及び現金同等物の期首残高	8,006	8,010
現金及び現金同等物の四半期末残高	12,421	9,022

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)3
	リース・ 割賦	融資	不動産	フィー ビジネス	計				
売上高 外部顧客への 売上高	5,871	490	2,561	269	9,193	246	9,439	—	9,439
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	5,871	490	2,561	269	9,193	246	9,439	—	9,439
セグメント利益	640	390	788	128	1,948	51	1,999	△153	1,846

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、売電事業、物品販売等を含んでおります。

2. セグメント利益調整額△153百万円は、全社費用であり報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)3
	リース・ 割賦	融資	不動産	フィー ビジネス	計				
売上高 外部顧客への 売上高	7,031	530	2,704	228	10,496	120	10,616	—	10,616
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	7,031	530	2,704	228	10,496	120	10,616	—	10,616
セグメント利益	679	391	884	101	2,055	24	2,079	△205	1,874

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、売電事業、物品販売等を含んでおります。

2. セグメント利益調整額△205百万円は、全社費用であり報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

4. 補足情報  
営業資産残高

セグメントの名称	前連結会計年度末 (平成28年3月31日)		当第2四半期 連結会計期間末 (平成28年9月30日)		(参考) 前第2四半期 連結会計期間末 (平成27年9月30日)	
	期末残高 (百万円)	構成比 (%)	期末残高 (百万円)	構成比 (%)	期末残高 (百万円)	構成比 (%)
リース・割賦						
ファイナンス・リース	38,101	34.3	38,547	36.1	34,393	32.5
オペレーティング・リース	8,449	7.6	8,187	7.7	5,276	5.0
リース計	46,550	41.9	46,734	43.8	39,670	37.5
割賦販売	11,738	10.6	12,646	11.8	12,231	11.5
リース・割賦計	58,288	52.5	59,380	55.6	51,901	49.0
融資	19,763	17.8	20,410	19.1	18,698	17.7
不動産						
オペレーティング・リース	33,028	29.7	26,476	24.8	34,932	33.0
その他	—	—	500	0.5	314	0.3
不動産計	33,028	29.7	26,976	25.3	35,246	33.3
合計	111,080	100.0	106,768	100.0	105,846	100.0